

形に残る仕事にやりがいを感じる

市内の現場を中心に、コンクリート構造物の「型枠」の加工や組み立てを行う型枠大工として、重田組で働く藤田さん。友人からの紹介もあり、昨年6月、以前から興味を持っていた建設業界に転職しました。

同社では、公共・民間を問わずさまざまな規模の建築物を施工。藤田さんは、「自分の仕事が生かされて残り、人々の生活の基盤となることにやりがいを感じる」と語ります。

現在施工中の現場では、建設規模が大きく、多種多様な職人が集まっ



勤務先 (株)重田組
ふじた そうま
藤田 蒼磨 さん
(22歳・羽賀)

て作業を実施。「工事をスムーズに進めるためにも、他業者との連携が必須。積極的にコミュニケーションを図っていききたい」と意欲をみせます。

入社からもうすぐ丸1年が経とうとしており、「最近では、小さいながらも任せられた現場をやり遂げることができ、自信と成長に結びついた」と言う藤田さん。「一日一日の仕事に全力で取り組み、大きな現場を任せられるようになることで、生まれ育った地への恩返しにつながればうれいです」と力強く話してくれました。

周りの支えが力になっている



女子バレーボール部 キャプテン
たはら ゆい
田原 友結 さん
(小浜中学校3年生)

小浜中学校の体育館で大きな声を響かせながら練習に励む女子バレーボール部。キャプテンを務める田原さんは、「全員で声を掛け合い、全力でボールを追いかける姿」に魅力を感じて中学校から競技を始めました。

部では、普段から試合に勝つことを意識し練習を实践。先日の春季大会では努力が実り、前回大会を上回る成績を収めました。田原さんは、「部員同士が競い合い、互いに高め合ったことが結果に結びついた」と喜ぶ一方で、「今後、どれだけ課題を克服できる

かが勝負」と気を引き締め直します。リベロとして守備を専門に活躍している田原さん。「トスが上げやすいように、レシーブの精度を高めることが自分の役割。レシーブでは誰にも負けたくない」と意気込みます。

「キャプテンとしてここまで頑張ってきたのはみんなのおかげ。周りからの声や助けが力になり、支えてもらっていると実感しています。チームメイトや周りの人への感謝の気持ちを胸に、地区大会優勝、そして県大会での勝利を目指して突き進みます。

より良い食生活を自ら実践

「私達の健康は、私達の手で」をスローガンに、食を通じた健康づくりボランティア活動を行う「食生活改善推進員」。

小谷さんは、市の推進員になって35年。現在は若狭地区と福井県の連絡協議会の会長も兼任しており、忙しい毎日を送っています。

「食事は『おいしく、楽しく』食べることが大事。そこに『健康に』を加えるためのひと工夫を学んで、より良い食生活を自ら実践し、周りの人たちに伝えるのが、私たち推進員の役割です」と話す小谷さん。

これまで市内各地で、高齢者向けの栄養講座や、男性対象の料理教室など、それぞれの世代・性別・生活様式に合わせたきめ細かい活動を行ってきました。

小谷さんは、「適切な栄養バランスや食事の量は、年齢や性別、体格や働き方などによって、それぞれ違う」と言い、「私たちの活動が、食生活を見直す一つのきっかけになればうれしい」と笑顔をみせます。

「楽しく健康な食事は、心も体も豊かにしてくれます。皆さんもぜひ一度、講座に足を運んでみてください!」



小浜市食生活改善推進員
おだに きよみ
小谷 清美 さん
(67歳・本保)

心の「垣根」取り払い交流

1年生から3年生の男女13人が所属する、若狭東高校国際交流活動部。週2回、ゲームを通じて英語を学んだり、同校のALT（外国語指導助手）やその家族と外国料理を作ったりして活動しています。

部長の藤原さんは、部員たちの様子を「学年ごとに異なるカラーがある」と言い、「3年生が大人しいのと対照的に、2年生はにぎやかでパワフル。けん引力があつて心強いが、盛り上がりすぎて『暴走』することも」と苦笑い。この春入部した1年生については、「こ

れからカラーが出てくると思うので、どうなるか楽しみです」

昨年7月には、友好都市である中国・西安市の高校生と英語で交流した藤原さん。「向こうのレベルが高くて驚いた。こちらはなかなか言葉が出なかったが、ジエスチャーなども交えて楽しく交流するうちに、『外国人』という垣根を感じなくなりました」と振り返ります。

今後の活動について尋ねると、「普段は『学年』ごとに固まりがち。まずは『学年』の隔たりを取り払っていききたいです」と、抱負を語ってくれました。



国際交流活動部 部長
ふじわら あやか
藤原 彩華 さん
(若狭東高校3年生)



地域おこし協力隊おススメ

小浜百景

第44回

池河内の阿弥陀立像

池河内集落センターのすぐそばに阿弥陀堂があり、高さ1.7mほどの阿弥陀如来立像が安置されています。

この像が作られたのは、平安時代の末期ごろ。疫病の流行や源平の戦いなどで混乱を極め、「仏教の教えが廃れ、世が乱れる」という「末法思想」が流行したことで、人々を極楽浄土に導くという阿弥陀仏に信仰が集まった時代です。

近くに住む川畑さんの話では、「当時を詳しく伝える史料は残っていないが、こうした思想が京の都から池河内にも伝わり、お堂がつくられたのでは」とのこと。

昭和32年には村の3分の1が焼失する大火に見舞われるも、像だけは村人の手で何とか難を逃れました。人々の心の支えは、今なおこの地を見守っています。



【アクセス】
小浜市池河内 31-9-1
JR東小浜駅から車で12分
小浜ICから車で14分

【文と写真】
地域おこし協力隊 オカモト



知ってほしい、役に立つ事業をキリトリ!

市役所 お仕事ファイル

令和元年度の開催予定

教室	尺八	お茶	お花
講師	若狭尺八とざん会	小浜市茶道連合会	小浜市華道連合会
対象	小学4年生～ 中学3年生	小学1年生～ 中学3年生	小学1年生～ 中学3年生
受講料 (材料費)	無料	400円/回	600円/回 (12月および総合文化祭への参加は1000円)
基本会場	文化会館(大手町)4階		
	小会議室5	和室	大会議室
基本開催日	第2土曜日	第3土曜日	第4土曜日
備考	都合により日程などが変更になることがあります。		

日本の文化を学ぶ 「伝統文化子ども教室」

■問い合わせ 文化会館 ☎ 53・9700

気軽に触れられる

日本の伝統文化

日本の伝統文化を伝承していくため、子どもたちに体験・習得してもらう機会を提供する「茶道」「華道」「尺八」の3種類の教室を開講しています。道具などは、教室で用意していますので、初めての人も気軽に参加できます。

教室は月1回

教室は、5月～2月まで、月1回実施。各教室は別の日に行われるため、複数の教室を受講することもできます。

稽古の成果は、2月に行う合同閉講式や、毎年11月に開催している「小浜市総合文化祭」に合わせた発表会などで披露します。

●尺八教室

「尺八」とは、竹から作られる木管楽器のことです。

教室では、基本の音の出し方から教わって、伝統的な曲や現代のアニメソングなどの演奏を通じて和の音色を学びます。



●お茶教室

おじぎや立ち方・座り方などの作法や、お茶のたて方、お菓子のいただき方を習得することを通じて、日本の「おもてなし」の心を学びます。

●お花教室

季節の花の生け方や楽しみ方を教わり、花を通じて季節の移り変わりを感じ、命を愛でる心を学びます。



健康 生活のつむぎ

智歯(親知らず)の

抜歯は計画的に

生え方・埋まり方によるトラブル

現代人は古代人より顎が小さく、最後に生えてくる智歯(親知らず)の生える場所が不足し、埋まったままになったり(埋伏智歯)、傾いて生えたりしがちです。このような智歯は不潔になりやすく、周囲の歯を含め、虫歯や歯ぐきの炎症(智歯周囲炎)などを起こしやすくなります。一方で、生え方や埋まり方によっては、将来的にそのようなトラブルを起こしやすいと予想できる場合も多々あります。智歯の抜歯は16歳以上で健康保険が適用され、このころには、将来的に抜歯が必要になるかどうかの判断がおおむね可能になりますので、まずは歯医者で相談してみてください。

計画的な抜歯が理想

若年者ほど歯根が未完成で歯の骨離れも良いため抜歯も容易ですが、ある程度生えてこないと削る骨の量も多くなるなど、抜歯時期が早過ぎるのも問題です。

杉田玄白記念 公立小浜病院

■問い合わせ ☎ 52・0990



歯科 口腔外科
土井田 誠 医師

それらを総合的に考えると、下顎は16歳～20歳ごろ、上顎は20歳～20代前半ごろが最も抜歯に適した時期と言えます。大切な試験や仕事のあるときに、重い智歯周囲炎になると大変ですので、学生の場合は長期休みを利用した計画的な抜歯が理想的です。

状態に合わせた治療法を選択

智歯の抜歯は外来でも可能ですが、抜歯が難しいような場合や患者の恐怖心が強い場合には、入院(1泊2日)して恐怖心を和らげる薬を点滴しながら、局所麻酔で複数の埋伏智歯を一括抜歯することも可能です。また、全身麻酔での一括抜歯が望ましい場合は、抜歯前日からの入院(2泊3日以上)になります。

公立小浜病院では、通常のX線検査に加え、必要があればCT撮影も行い、安心安全な智歯の抜歯を心掛けています。気軽に相談してください。